

## 松原闘牛場

地元の人々によって作られたこの闘牛場は、地域の暮らしの一部です。島の人口の割以上にあたる3,000 人もの人々が、毎年徳之島の一番強い牛を決める三大試合を見にやってきます。

奄美と沖縄の島々における闘牛の伝統は、17 世紀に鹿児島島の薩摩藩による過酷な支配下で生まれました。農民は農閑期の際に気を紛らわせる手段として各自の牛を闘わせました。長い年月の間にこの闘いは非常に人気となり、優勝した牛を訓練した人は多大な名誉を得ました。今日、農家の人が自分の大事な牛を道やビーチで運動させているのがよくみられます。

闘牛のルールは、シンプルです。トレーナーに伴われた牛たちが、直径 20 メートルのリングで、片方が倒れるか、降参して逃げだすまで、互いに角を掛けて押し合います。牛には横綱(grand champion)や大関(champion)など、相撲にちなんだ番付がされています。最も体重が軽い牛は 700kg 前後で、重い牛では 1,100kg を超えることもあります。

闘牛のイベントの入場料は 2,000 円～3,000 円です。子ども料金は 1,000 円です。